

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	奥武山総合運動場	対象年度	令和7年度
------	----------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認・評価		
1.	維持管理業務		2
	(1) 清掃		
	(2) 植栽管理		
	(3) 保守・点検		
	(4) 保安・警備		
	(5) 小規模修繕		
	(6) 備品購入		
	(7) 防犯・防災対策		
	(8) 料金徴収業務		
2.	運營業務		7
	(1) 利用実績		
	1) 利用者数等		
	2) 施設稼働率		
	3) 教室・イベント等参加者数		
	(2) 運営企画		
	(3) 受付・接客		
	(4) 広報		
	(5) 情報管理		
3.	自主事業		9
II.	サービスの質の確認・評価		10
III.	財務状況の確認・評価		14
1.	事業収支		
	(1) 収入		
	(2) 支出		
2.	経営分析指標		
IV.	総合評価		16
1.	目標		
2.	評価結果		
附表	経営状況分析シート		18

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	奥武山総合運動場		対象年度	R7年度
指定管理者	奥武山パークマネジメント 指定期間：R3年4月～R8年3月		所管課	文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 各体育施設清掃業務			【武道館】 週6日実施 【プール】 週6日実施 【その他施設及び公園トイレ】 週6日実施	床拭き上げ、トイレ更衣室、道場観覧席 アリーナ観覧席、窓ガラス カーペット (会・研・トレーニング室)、 建物外周等	【確認箇所】 ○各施設の清掃実施体制 ○各施設の清掃状況 ○委託業者による清掃日報 【確認結果】 各施設、更衣室、トイレ等、清掃は清潔感があり、計画通り、日常清掃及び定期清掃が行われている。 業務日誌の確認については、記載状況、報告方法、書類管理が施設毎に統一された運用ができています。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。 ・利用者が快適に利用できるよう、引き続き委託業者との連携を図り、適切な衛生管理に努める必要がある。
〈定期清掃〉 ①受水槽清掃 (武道館・プール) ②ワックス塗布 (武道館アリーナ棟・錬成棟・錬成棟シャワー室) ③洗浄作業(武道館錬成棟シャワー室タイル) ④窓ガラス清掃 (武道館・弓道場・庭球場会議室・プール)	○	○	①受水槽清掃年1回(プール、武道館4月) ②床ワックス塗布年2回(7月・1月) ③更衣室・シャワー室のポリッシュ洗浄年3回(6月、10月、1月) ④窓ガラス清掃 ・武道館年2回(6月、1月) ・庭球場年2回(8月、1月) ・弓道場年1回(11月) ・プール年1回(4月)			

(2) 植栽管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①草・芝刈 ②樹木類剪定 ③草花植替・施肥等	○	○	①草・芝刈(毎月) ②低木剪定(5～7月、10～2月) 高木剪定(7月、11～12月) ③ ・草花植替(3月) ・樹木施肥(3月) ・抜根除草(5～6月、10月、12月、3月) ・植栽巡回点検 ・ゴミ収集処理	【確認箇所】 奥武山公園内、糸満球技場、ライフル射撃場 【確認結果】 草刈、剪定等の作業が行き届いており、景観も良好に保たれている。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。 ・台風時に倒木による被害がないよう、留意する必要がある。 ・引き続き委託業者とも連携を図り、快適な施設環境の維持に努める必要がある。	

(3) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①電気設備 ②空調設備 ③給排水設備 ④消防設備 ⑤音響・舞台設備 ⑥白アリ防除		○	① ・直流電源(蓄電)設備点検 ・非常用発電設備保守点検 ・エレベーター年次検査 ・受変電設備 毎月点検 ② ・給排気ファン点検 ・給排気口点検(目視) ・空調用ポンプ・冷却塔ファンモーター点検 ・空調機点検(アリーナ・錬成道場) ・吸収式冷凍機点検 ③ ・簡易専用水道検査 ・真空式温水ヒーター及び貯湯層点検 ・地下ピット点検 ・受水槽点検 ・上水、中水循環ポンプ点検 ・冷水機点検 ・プール水質検査 ・浄化槽定期点検(ライフル射撃場)(7人槽年3回、50人槽年4回 実施) ④消火設備(火気・施設・消火・警報設備・避難設備)点検(総合点検、機器点検) ⑤ ・アリーナ舞台機構保守点検(年2回) ・アリーナ舞台照明設備保守点検(年1回) ・ホール音響システム点検(年1回) ⑥白アリ駆除モニタリング(年2回)※状況に応じ、随時点検を行う	【確認箇所】 ○各施設の設備保守点検体制 ○武道館地下1階、中央監視室、機械室、電気室等の設備機器 ○委託業者による日々点検表 ○法令点検等の検査報告書 【確認結果】 システムによる保守と目視点検により奥武山公園内の空調や電気設備を全体的に把握できるようになっており、点検表も日報により作成され、適正に行われている。	・事業計画、事業報告のとおり適切に実施されている。 ・引き続き適正な保守・点検を行い、施設内の安全確保に努める。 ・経年劣化している設備については、県と指定管理者間で早期に状況を共有し、安全性・緊急性を考慮の上、更新の検討を行う。	

(4) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①公園・施設常駐警備 ②体育施設警備(機械警備・巡回) ③駐車場警備 ④園内出入車両警備		○	① ・昼勤、夜勤の24時間2交代制で常駐警備 ・施設の施錠解錠(機械警備含む) ・公園内の安全管理(不審者や無許可進入車両などの対応、未成年の深夜徘徊や喫煙、飲酒の声掛け、対応など) ②施設内外の巡回点検(施錠及び消火器、消火栓の異常確認や施設内外の秩序の安全確認) ③駐車場開閉管理 ④ ・入園車両の確認(護国神社・沖之宮神社参拝) ・園内違法進入車両の取締	【確認箇所】 ○警備体制 ○施錠・開場箇所 ○機械警備の設備 ○委託業者による警備日報 【確認結果】 事業計画、事業報告のとおりに適正に行われている。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。 ・引き続き、委託業者との連携を図り、利用者の安全確保に取り組む必要がある。	

(5) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
150万円未満の修繕	○		施設・設備の修繕 (69件) ※事後保全と予防保全を状況を見極めながら、利用者に対して支障をきたさないよう修繕に取り組んでいる。 ・非常動力盤ブレーカー取替(武道館) ・エアコン設置工事(糸満球技場) ・雨水ろ過装置カートリッジ交換(武道館) ・非常用発電用装置バッテリー交換(プール) ・消防用設備改修工事(武道館) などの修繕、改修工事を行った。	【確認箇所】 令和7年に実施した小規模修繕のうち数箇所を確認。 ①武道館 ・通行用電子錠 ・非常動力盤ブレーカー ・雨水ろ過装置カートリッジ ・吸収式冷温水機マグネットスイッチ ②トレーニングルーム ・ラボード走行ベルト ③水泳プール ・プール監視カメラDVR交換修理 ④糸満球技場 ・エアコン 【確認結果】 事業計画、事業報告のとおりに実施されている。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。 ・施設の不具合箇所について、限られた予算の中で優先順位をつけながら迅速な対応を行っており、利用者の安全確保に配慮した修繕を行っている。 ・今後も、経年劣化等により修繕の必要が出た場合には、事業計画を踏まえつつ、優先度の高い箇所から修繕を行う必要がある。	

(6) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の範囲内で購入	—	—	<プール用備品> ①プリンティングタイマー ②プールクリーナー(4台) ③プールロボット ④レーンロープ巻取器(4台) <自転車競技場備品> ①冷暖房装置(2台) ②プレハブ(2棟) ③緊急連絡装置(受信機)	【確認箇所】 令和7年度に購入した左記の備品の使用及び保管状況 【確認結果】 購入した全ての備品について、適切に保管・管理されている。	・適切な備品管理がなされている。	・県と指定管理者間において、必要となる備品を洗い出し、優先順位を調整しながら購入している。 ・今後も、利用者の利便性に繋がるよう、県と指定管理者間で連携して計画的な物品管理に努める。

(7) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①緊急連絡体制の整備 ②消防訓練 ③防災(津波)訓練 ④AED・CPR研修会 ⑤園内、施設内の適宜巡回、防犯カメラによる適宜確認(武道館、プール、コミュニティセンター)	○		①災害等の緊急時における職員・警備員・設備等管理委託業者等との連絡体制の整備 ②【消防避難訓練】8月、2月(県立武道館、プール、弓道場、コミュニティセンター) ③【防災(津波)訓練】3月に実施 本番さながらの訓練が実施できた。 ④【AED・CPR 研修会】緊急時の際に落ち着いて対処・対応できるようにCPR(心肺蘇生法)、AED(自動体外式除細動器)の研修を行った。 ⑤【巡回確認・防犯カメラ確認】巡回車両にパトランプを設置、夜間巡回時に目立ち、防犯の抑止力になる。また、公園内、施設内を適宜巡回し危険個所や不審者の確認	【確認箇所】 ○緊急連絡体制図 ○各施設の防災避難路等の誘導表示 ○津波避難場所表示 ○AED設置場所 ○各訓練結果 【確認結果】 エレベータ付近等、各箇所に表示されている。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。	・緊急連絡体制フロー図が整備され、適切に対応している。 ・消防、防災、AED等の必要な訓練も計画どおり実施されている。 ・避難誘導表示やAED設置の案内も適切に周知がなされている。 ・防犯対策については、県立武道館の防犯カメラにより、死角となるエリアの対策等を行っており、引き続き防犯管理に努める。

(8)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①個人利用料金徴収(各施設受付) ②専用利用料金徴収(県立武道館受付)	○		①個人利用利用料金 武道館、庭球場、弓道場 陸上競技場、プール、多目的広場 ライフル射撃場 糸満球技場 ②専用利用料金徴収 武道館、庭球場、弓道場 陸上競技場、プール、多目的広場、コミュニティセンター、補助競技場、少年野球場、トリムコース、のびのび芝生広場 ライフル射撃場 糸満球技場 ※12月に「企業会計におけるコンプライアンスの徹底とリスクマネジメント」のコンプライアンス研修を実施。職員一人ひとりのコンプライアンスへの理解を深め、会計ルールの正しい運用を改めて徹底した。 令和7年度より自主事業における参加料等の料金徴収はレジを用いて、金銭のやりとりの記録が残るようになった。 また、令和8年度から武道館において、レジスターを導入予定。受付における現金収受を廃止、やりとりの記録が残る仕組みを構築している。 予約システムでは、令和8年度から専用利用の支払いで、クレジット決済、コンビニ決済が使用可能となるよう調整を行っている。	【確認箇所】 ○売上金チェック体制 ○売上日計表 ○専用利用徴収内訳 ○回数券管理表 ○現金保管金庫 【確認結果】 各施設において、統一された様式を用い、同日において報告されている。	・事業計画、事業報告のとおりに適切に実施されている。 ・社内におけるコンプライアンス研修の実施や、現金収受を減らすための方策(レジスターの導入、キャッシュレス決済の導入等)を講じており、厳密な管理体制の構築に取り組んでいる。 ・レジスターの導入やコンビニ決済、クレジット決済など支払方法の多様化により、利用者の利便性の向上に努めている。	

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	・維持管理業務については、引き続き事業計画に基づき適切な実施に努めるとともに、経年劣化等により大規模な修繕が必要となる設備等については、関係機関と調整し優先順位を踏まえた上で、利用者に配慮した修繕を行っていく。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和8年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		R6年度実績(人)	事業計画 (目標値)	R7年度実績(人)	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
利用者数	個人利用者数	170,780	660,000人 (体育施設のみ)	170,985	100%	179%	・個人利用者数及び専用利用者数ともに前年比で増加となっており、事業計画目標値を上回っている。
	専用利用者数(観客除く)	820,646		900,127	110%		・引き続き自主事業の拡充を図り、県と指定管理者間で連携しながら各施設利用者のニーズに対応できるよう努める。
	計		991,426		1,071,112		
【評価基準 (①利用状況)】				評価(①利用状況)			S

2) 施設稼働率

①奥武山総合運動場

施設名		時間帯	R6年度実績		事業計画 (目標値)	R7年度実績		整合性の検証		現状分析 ・課題
			使用率	使用日 (開放日)		使用率	使用日 (開放日)	前年比	計画比	
武道館	アリーナ	午 前	94.1%	288	(306)	93.9%	279	(297)	100%	・アリーナ、錬成道場、トレーニングルーム、水泳プール、弓道場、庭球場については、いずれも90%以上の稼働率を維持できている。 ・相撲場、クライミング施設については、専用施設であり競技人口も他の競技に比べて少ないため、稼働率も低い傾向となっている。 ・ライフル射撃場は、専門性の高い競技かつ資格所有者でなければ利用できない競技もあるため、他の施設と比較して稼働率が低くなっている。 ・稼働率の低い施設については、施設活用のPRや教室・イベント等の自主事業の実施も含め、稼働率向上に向けた工夫を図る。
		午 後	96.4%	295	(306)	93.3%	277	(297)	97%	
		夜 間	100.0%	298	(298)	99.3%	287	(289)	99%	
	錬成道場	午 前	98.7%	302	(306)	100.0%	297	(297)	101%	
		午 後	92.8%	284	(306)	100.0%	297	(297)	108%	
		夜 間	100.0%	298	(298)	100.0%	289	(289)	100%	
	トレーニングルーム	午 前	100.0%	306	(306)	100.0%	297	(297)	100%	
		午 後	100.0%	306	(306)	100.0%	297	(297)	100%	
		夜 間	100.0%	298	(298)	102.8%	297	(289)	103%	
	相撲場	午 前	16.2%	49	(302)	19.7%	58	(295)	121%	
		午 後	3.6%	11	(303)	8.8%	26	(295)	243%	
		夜 間	16.3%	48	(295)	17.8%	51	(287)	109%	
	クライミング(リード)	午 前	4.6%	14	(302)	1.4%	4	(295)	29%	
		午 後	4.0%	12	(303)	4.7%	14	(295)	120%	
		夜 間	16.6%	49	(295)	16.0%	46	(287)	96%	
	クライミング(ボルダリング)	午 前	28.5%	86	(302)	23.1%	68	(295)	81%	
		午 後	32.0%	97	(303)	24.7%	73	(295)	77%	
		夜 間	25.8%	76	(295)	30.3%	87	(287)	118%	
	会議室	午 前	50.0%	153	(306)	47.8%	142	(297)	96%	
		午 後	50.3%	154	(306)	54.2%	161	(297)	108%	
		夜 間	55.0%	164	(298)	56.4%	163	(289)	102%	
	研修室	午 前	52.9%	162	(306)	69.4%	206	(297)	131%	
		午 後	50.3%	154	(306)	61.3%	182	(297)	122%	
		夜 間	58.4%	174	(298)	67.8%	196	(289)	116%	
	修養室	午 前	29.7%	91	(306)	28.3%	84	(297)	95%	
		午 後	10.1%	31	(306)	19.5%	58	(297)	193%	
		夜 間	24.5%	73	(298)	24.9%	72	(289)	102%	
水泳プール	午 前	168.4%	96	(57)	161.7%	97	(60)	96%		
	午 後	96.8%	149	(154)	99.3%	152	(153)	103%		
	夜 間	113.7%	116	(102)	111.9%	113	(101)	98%		
陸上競技場	午 前	47.0%	142	(302)	58.9%	178	(302)	125%		
	午 後	48.2%	146	(303)	63.9%	193	(302)	133%		
	夜 間	89.2%	107	(120)	30.3%	89	(294)	34%		
弓道場	午 前	93.8%	287	(306)	98.4%	299	(304)	105%		
	午 後	99.7%	305	(306)	100.0%	304	(304)	100%		
	夜 間	87.6%	261	(298)	99.0%	293	(296)	113%		
庭球場	午 前	99.0%	299	(302)	99.3%	300	(302)	100%		
	午 後	96.7%	293	(303)	98.7%	298	(302)	102%		
	夜 間	91.2%	269	(295)	100.0%	294	(294)	110%		
ライフル射撃場 (ビームライフル)	午 前	32.5%	98	(302)	25.8%	78	(302)	80%		
	午 後	20.5%	62	(303)	10.3%	31	(302)	50%		
	夜 間	31.5%	93	(295)	30.6%	90	(294)	97%		
ライフル射撃場 (エアライフル)	午 前	31.5%	95	(302)	41.1%	124	(302)	131%		
	午 後	19.8%	60	(303)	14.9%	45	(302)	75%		
	夜 間	42.7%	126	(295)	46.9%	138	(294)	110%		
ライフル射撃場 (スモールボア)	午 前	13.2%	40	(302)	12.3%	37	(302)	93%		
	午 後	37.6%	114	(303)	25.5%	77	(302)	68%		

【評価基準(①利用状況)】
目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	R6年度実績	事業計画 (目標値)	R7年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
教室	【スポーツ教室】 (成人向け定期コース) 午前夜間テニス、午前夜間バドミントン、いきいきリズムストレッチ、ゆらゆらリフレッシュ体操、discoダンスエクササイズ、discoダンス&コンディショニング、成人水泳、体幹トレーニング&ピラティス、ヨガ、Zumba&太極舞、すてきにエイジング、シェイプアップ (小人向け定期コース) 幼児体操、小学生体操、小学生水泳、短期小学生水泳(短期コース) 女性のためのやさしいヨガ入門	3,180	3,971	2,928	92.08%	74%	・多種目にわたる種目を設定し、また、ニーズに合わせたターゲット層・時間の設定等も工夫している。 ・引き続きサービスの充実に取り組める。
	【文化・体験教室】 護身術セミナー、苦手克服塾跳び箱、剣道錬成大会 等						
イベント	キッズトライアスロン	413	390	390	94%	100%	・自主事業としてのイベントも多数開催し、参加者も概ね計画通りの実施となっており、県民からも好評である。 ・今後も継続して開催ができるよう努める。
	ゆうれいやしき	519	500	497	96%	99%	
	チャレンジフェスティバル	188	200	237	126%	119%	
	奥武山マルシェ	-	2,500	3,346	-	-	
	ワンダフルフェス	9,082	9,000	8,677	96%	96%	
	混合バレー	812	753	649	80%	86%	
	こま回し、けん玉(けん玉チャレンジ)	269	250	222	83%	89%	
	ウィークデーバドミントン大会	283	360	244	86%	68%	
	ファミリーキャンプ	226		79	35%	#DIV/0!	
	みずあそびパーク	774		77	10%	#DIV/0!	
計		15,746	17,924	17,346	110%	97%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉297日	左記の条例上の開館日に加え、必要に応じて県知事の承認を得て23日開場した。	条例上の開館日以外にも県の承認を得たうえで適切に開館している。	事業計画・事業報告の通り適切に実施されている。	・条例及び基本協定等に基づき、適切に対応している。 ・今後も、必要に応じて県と指定管理者間で協議を行い、柔軟な対応に努める。
〈開館時間〉 ①武道館、弓道場、ライフル射撃場:9:00～21:00 ②補助競技場、糸満球技場:9:00～18:30 ③庭球場:7:00～21:00 ④水泳プール:4月29日～10月31日までの9:00～21:00 ⑤陸上競技場:4月～9月9:00～19:00 10月、2～3月9:00～18:00 11月～1月:9:00～17:00	左記条例上の開場時間に加え必要に応じて県知事の承認を得、361時間の開場※(各施設含む)	条例上の開場時間以外にも県の承認を得たうえで開場している。		

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (県知事への届出)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
社員行動指針に挙げる「明るく(私達は挨拶・会話は明るく笑顔で対応します)」「楽しく(私達はお客様に感動を提供する為に楽しく仕事をします)」「前向きに(私達は報連相を徹底し前向きに(ポジティブ)に行動します)」をモットーに受付・接客対応を行う。また、お客様に信頼と技術を提供できるように日々、研鑽する。	○		利用者の要望に応えるため「出来る・出来ない」も必要不可欠であるが「どのようにしたら出来る」かを常日頃から心掛けサービス向上を図った。利用者からの意見も聞きながら、施設を利用しやすい環境作りに取り組んだ。 また、令和7年度からWeb予約システムの導入もあり、業者との打ち合わせ、システムの不具合対応連絡などを密接に行い、利用者の問い合わせに対し、スムーズな受け答えができるよう務めた。その他WEB研修会や講習会に参加し従業員の接客やイベント対応、施設管理などの質を高め、利用者へのサービス向上に務めた。	各施設を巡回し、事業計画・事業報告のとおり適切に行われている。	事業計画・事業報告のとおり適切に実施されている。	・概ね事業計画通り実施できており、利用者アンケートも高い評価を受けている。 ・引き続き社員行動指針に基づき、職員の意識向上に努める。 ・令和7年度から導入したWeb予約システムについても、関係機関と連携し、利用者の利便性向上に努めている。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
奥武山公園・奥武山総合運動場のホームページで多様な情報を発信。新聞の無料の広告を利用し自主事業の情報を拡散する。近隣小学校や学童施設、保育園へのフライヤー配布。弊社管理他事業所へのフライヤー設置。公園内10箇所への掲示板への掲示や近隣の店舗などに掲示依頼。InstagramやLINEなどのSNSなどでもイベントやスポーツ教室、施設の空き状況などを発信。	○		随時新着情報(プール水温や駐車場の混雑予想など)を奥武山公園HPにて更新し広く情報を提供。新聞の無料広告を利用し自主事業の情報を拡散。園内10箇所にある掲示板や近隣小学校及び学童施設や保育園、弊社管理の事業所(県総合運動公園、ANAスポーツパーク浦添、豊見城市民体育館、与那原観光交流施設、赤間運動場)や近隣の店舗(スポーツ店や飲食店など)への広報を行った。 イベントや教室の様子を利用者や興味関心のある方と楽しさを共有出来るよう引き続きInstagramを併用し情報を拡散。フォロワー数も増えている。また、引き続き奥武山LINEグループで情報発信のツールを増やし、随時施設の空き状況が発信できるように取り組んだ。	HPは随時更新が行われており、SNSを中心に情報発信を行っている。 また、掲示板やモニターにて利用者への案内や自主事業の案内など、情報を拡散するための措置を行っている。	事業計画・事業報告の通り適切に実施されている。	・事業計画通り実施されており、自主事業については多様な情報発信ツールを活用して積極的に取り組んでいる。 ・引き続き、施設利用者の促進に繋がるよう、タイムリーな情報発信の工夫等に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する法律及び個人情報条例の規定に基づき管理する。 ※「安全危機管理マニュアル」管理事務所所長を責任者とし就業規則に則り随時教育を行う。 第18条パソコン等情報機器の使用原則 第21条持込・持出禁止 第49条金品の返還 第50条守秘義務	○		不要になった書類は業者へ依頼し、廃棄処分を行った。第三者からの利用者(事務所職員含む)に係る電話番号問い合わせには不用意に開示しない。申請書については公文書にあたるため、保存期限内は施錠可能な書庫にて厳重保管。防犯カメラの記録媒体についても然り。開示については、情報開示請求を以って行う。	必要な書類には「取扱注意」の記載がされ、個人情報が含まれている書類の区分が行われていた。	事業計画・事業報告の通り適切に実施されている。	・事業計画通り実施されており、引き続き適切な個人情報の管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析 ・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
※教室・イベントを含む						

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	・施設利用者数については、積極的な広報活動も継続しつつ、必要な備品や設備修繕についても、県と指定管理者間で定期的に情報を共有し、引き続き目標値の達成に向けた工夫に努める。 ・自主事業については、R7年度も積極的にイベント等も企画しており、参加者からも好評であることから、R8年度も引き続き利用者の意見も踏まえながら継続した開催ができるように努める。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R8年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		紙アンケート及びびネットアンケート		回答者数		262件		アンケート内容		別紙参照	
評価項目		第三者(利用者等)評価				指定管理者		現状分析・課題			
		R6年度評価	R7年度目標	R7年度評価							
維持管理業務	施設・設備管理	満足度 97.7% 満足 67.6% やや満足 30.1% やや不満 2.3%	〈満足度〉 98.4% 満足 90% (※1)	〈満足度〉 98.4% 満足 70.2% やや満足 28.2% やや不満 1.5%	S	〈要望への対応〉 ・暑さ対策として、陸上競技場倉庫内に冷蔵庫を設置。常時、冷凍庫には凍らせたペットボトルを入れており、利用者が自由に使用できるようにしている。 〈自己評価〉 ・利用者の安全確保と快適性の向上にも主体的かつ迅速に取り組み、特に夏季をはじめとする暑さ対策・熱中症リスクへの備えとして、施設内に利用者が自由に活用できる冷蔵庫を新たに導入・設置。これにより、日常的な休息時だけでなく、体調不良者が出た際の緊急時における即座の冷却対応なども可能となり、施設全体の利便性と危機管理体制を多角的に強化した。	・利用者からの改善要望については、指定管理者にて迅速に対応しており、満足度も昨年度同様となっている。 ・引き続き、利用者の安全性を考慮し、危機管理体制を強化する必要がある。				
	〈改善要望〉 ・暑さ対策を工夫してほしい										
運営業務	接客対応	満足度 100% 満足 87.5% やや満足 12.5%	〈満足度〉 97% 満足 90% (※1)	〈満足度〉 97% 満足 79.8% やや満足 17.2% やや不満 3%	S	〈要望への対応〉 ・ホームページのトップによく問い合わせのある専用利用方法について、水泳プールの開放予定についてなどをすぐ見られるように配置した。また、公式SNSでイベントなどの情報をリアルタイムで発信を行っている。 〈自己評価〉 ・利用者からの問い合わせや要望を分析し、ホームページのトップ画面へ「専用利用方法」や「水泳プールの一般開放予定」といった高頻度の検索項目を優先的に配置するレイアウト変更を行った。これにより、ユーザーが必要な情報へ即座にアクセスできる導線を構築し、利便性の向上と問い合わせ対応の効率化を同時に実現した。また、ホームページの補完として公式SNSを積極的に運用し、イベント情報や施設の最新状況をリアルタイムで発信し、利用者への迅速な情報提供と認知拡大に努めた。	・接客については、利用者から高い評価を得ており、引き続き職員の資質向上を図る。 ・複数の施設で各窓口があるため、利用者から意見が出た際は、定期的に職員全体で共有し、サービスの向上に努める。				
	〈改善要望〉 ・ホームページが見にくい。最新情報がすぐ分かるように載せて欲しい										

運営業務	施設・設備	満足度 98.3% 満足 67.6% やや満足 30.7% やや不満 1.7%	〈満足度〉 85%	〈満足度〉 94.3% 満足 61.5% やや満足 32.8% やや不満 5.7%	S	〈要望への対応〉 ・経年劣化により、電磁弁の固着、センサーが反応しないなどの問題がでてきており、順次、設備員と一緒に交換を行って対応をしている。 〈自己評価〉 ・県立武道館や水泳プールなど、トイレの排水センサーが、経年劣化により不具合が起きている。メーカーに問い合わせを行い、部品ごとの修繕を行っているが、廃番になっていく部品もあり、修繕に限界が出てくる可能性がある。今後、化粧室設備の取り換えも行う必要があるため、所管課と協議を行っていきたい。	・改善要望については、県と指定管理者間で定期的に情報を共有し、連携して検討を行う必要がある。
	利用条件	満足度 97.7% 満足 68.2% やや満足 29.5% やや不満 2% 不満 0.3%	〈満足度〉 85%	〈満足度〉 97% 満足 67.6% やや満足 29.4% やや不満 3%	S	〈要望への対応〉 ・アリーナの借用団体には、裏駐車場や地下駐車場を案内し、錬成道場借用団体についても、駐車場の使用要望があれば、アリーナ借用団体と協議し許可を出している。 〈自己評価〉 ・日々の管理運営業務において、利用団体からの駐車場をはじめとする多種多様な要望に対し、形式的な対応に終始せず、事前の丁寧なヒアリングと協議を重ね、それぞれの団体の利用目的や規模に応じ、希望を最大限に汲み取った柔軟な調整・運営管理を行った。	・利用条件については、高い評価を得ており、今後も施設利用者が満足して利用できるよう、柔軟な対応に努める。
				〈改善要望〉 ・トイレの整備			
				〈改善要望〉 ・駐車場の少ない			

自主事業	教室・プログラム	〈満足度〉100% 〈定期教室・・・22教室〉	〈満足度〉85% (※1)	〈満足度〉100% 〈定期教室・・・22教室〉	S	〈要望への対応〉 ・単発教室については、各教室の先生方と日程を調整し、施設の空き状況などを確認しながら実施している。教室の終了までにアナウンスができるようにしている。また、教室の内容については、講師の先生と連携しながら、安全管理や内容の打ち合わせを行っている。 駐車場について、込み具合やその他施設の貸切状況を見ながら、教室開始の1時間前には連絡するようにしている。 〈自己評価〉 ・各定期教室は毎期、受講生の皆様からご好評をいただいている。引き続き講師と連携し、安全第一で質の高いプログラムの提供を行っていく。 同時に、単発教室に関しても講師の方々と円滑な調整を行い、安定した継続開催に努める。 これからも、より多くの皆様の健康増進に寄与できるよう、多様な運動機会の提供と施設コミュニティの活性化に努めていく。	・積極的に自主事業・イベントを展開し、参加者からも高い評価を得ている。 ・今後も、改善要望を踏まえて継続して実施できるように努め、サービスの質の向上のため、引き続きアンケートの実施も行う。
				〈改善要望〉 ・期ごとの間が長いときがあるので、単発教室を入れてほしい。 ・基礎練習を増やしてほしい。 ・駐車場が満車になりそうな行事があればお知らせ頂けると助かります。			
	イベント	ゆうれいやしき		〈満足度〉100% 満足 98% 満足しなかった 2%	S	〈要望への対応〉 ・昨年度の要望にあった「コース別の設定」「待ち時間をどうにかしてほしい」に対して、案内時にコースを確認し、ゆうれいで共有し対応した。また、待ち時間に対しては、受付時に前もって説明を行い、ご理解とご了承をもらった。 〈自己評価〉 ・アンケートにも「怖かった」「他施設よりも怖かった」というご意見が多くみられた。子どもたちだけではなく、大人同士でも来られていて、知名度が上がっていること、怖さのレベルも上がっていると実感した。	
				〈満足度〉100% 満足 59% やや満足 41%		S	〈要望への対応〉 ・昨年度は、日程が合わなかったため、開催が出来なかったが、今年度は1日間の開催ができた。また、来場者数を増やすために子ども向けのイベントもマルシェの中で行った(宝探し大作戦)。そのため、親子連れがたくさん来場し、とても盛り上がるイベントとなった。 〈自己評価〉 ・約2年ぶりのイベントは大盛況となった。初導入の「子ども向け企画」も好評を博し、ファミリー層の集客に確かな手応えを得られ、今回の成功事例を次回にも活かし、さらなるリピーターの獲得と利用者の満足度向上に繋げていきたい。
		奥武山マルシェ		〈改善要望〉 ・縁日やお菓子などの出店があったら、子どもたちも喜ぶと思う。			

総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉 97.8%	〈満足度〉 85% (※1)	〈満足度〉 97.3%	評価 (②満足度)	〈自己評価〉 ・条例、改正法に伴う整備事業(水俣条例により水銀灯の製造が終了)で弓道場を令和7年度に更新工事を行った。これにより、奥武山公園スポーツ施設、ライフ射撃場がLEDに変わり、消費電力の抑制によるランニングコストの削減や消費電力の削減を通じてCO2(二酸化炭素)の排出量削減にも直接貢献している。また、所管課と協議をし、水泳プール50m・飛込プールサイドラバー更新工事、県立武道館吸収式冷凍機、給水ポンプ更新工事なども行った。吸収式冷凍機の更新は、県立武道館アリーナの空調設備であり、九州、全国大会、大型イベントなどでも使用される施設であることから、利用者の利便性向上にも繋がっている。また、次年度には、アリーナ床面のリコーティング工事も予定しており、施設の維持管理には細心の注意を払い、安心して利用いただける環境づくりに努める。 ・ジムビームなどの大型イベントも引き続き行われ、全国中学校体育大会(ハンドボール競技)も行われ、多くの来園者が訪れた。そのため、私たちはイベント主催者や大会関係者等と事前の綿密な打ち合わせを重ね、スムーズなイベント・大会運営や徹底した管理体制、安全面の確保などを多角的に確認し、万全な体制でサポートを行った。 ・自主事業においては、これまで長年にわたり好評いただいている既存の教室を、さらに利用者に満足いただけるよう、内容の充実と質の向上に一層努めていく。また、親子で気軽に体験し、ともに楽しめる体験型・参加型のイベントも企画・開催していきたい。	・基本協定書に基づき、指定管理業務は全般的に適切な対応ができている。 ・総合評価も97.3%と、利用者からも高い評価を得ている。 ・今後も利用者のニーズ、意見を適切に把握できるよう、アンケート調査の内容や方法についても見直しを行い、サービスの維持向上に努める。
				S		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均

各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	・各項目ともに高評価となっているため、今後もサービスの質が維持できるよう、利用者のニーズ、意見を適切に把握するためのアンケート調査の内容や方法についても見直しを検討する。
------------------------	---

※「II. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R8年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅲ. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		R6実績		事業計画	R7実績		前年比		計画比		特記事項
		(専用+個人)	(専用利用のみ)		(専用+個人)	(専用利用のみ)	(金額)	(%)	(金額)	(%)	
利用料金収入	奥武山総合運動場	44,052,092	23,706,992	38,900,000	45,798,223	25,154,508	1,746,131	104%	6,898,223	118%	各施設の合計
	奥武山公園	3,688,865	2,886,865	3,100,000	4,238,330	3,315,930	549,465	115%	1,138,330	137%	
	計	47,740,957	26,593,857	42,000,000	50,036,553	28,470,438	2,295,596	105%	8,036,553	119%	
	武道館	26,817,145	17,629,995	24,800,000	27,255,735	18,176,045	438,590	102%	2,455,735	110%	
	陸上競技場	1,592,520	1,446,360	1,150,000	2,140,835	2,034,755	548,315	134%	990,835	186%	
	補助競技場	552,610	552,610	390,000	695,950	695,950	143,340	126%	305,950	178%	
	庭球場	9,453,472	3,185,822	9,800,000	10,108,693	3,326,283	655,221	107%	308,693	103%	
	弓道場	2,973,230	200,010	1,500,000	2,844,460	217,800	-128,770	96%	1,344,460	190%	
	プール	2,034,085	563,085	2,000,000	2,277,620	657,445	243,535	112%	277,620	114%	
	のびのび芝生広場	140,260	140,260	70,000	103,070	103,070	-37,190	73%	33,070	147%	
	少年野球場	278,660	278,660	150,000	309,730	309,730	31,070	111%	159,730	206%	
	多目的広場	1,966,590	1,164,590	1,700,000	2,289,660	1,367,260	323,070	116%	589,660	135%	
	トリムコース	408,400	408,400	200,000	345,100	345,100	-63,300	85%	145,100	173%	
	コミュニティーセンター	894,955	894,955	80,000	1,190,770	1,190,770	295,815	133%	1,110,770	1488%	
ライフル射撃場	489,000	69,840	400,000	351,730	0	-137,270	72%	-48,270	88%		
糸満球場	140,030	59,270	120,000	123,200	46,230	-16,830	88%	3,200	103%		
指定管理料	(運動場+公園)	(総合運動場部分)	事業計画	(運動場+公園)	(総合運動場部分)	(運動場+公園)	(運動場+公園)	(運動場+公園)	(運動場+公園)	(運動場+公園)	
自主事業収入		234,000,000	183,700,000	235,600,000	235,600,000	185,200,000	1,600,000	101%	0	100%	
	教室・イベント	14,367,330	12,675,030	12,000,000	15,089,800	13,416,600	722,470	105%	3,089,800	126%	
	レンタル品	330,200	306,500	300,000	364,870	340,470	34,670	110%	64,870	122%	
	販売品	4,463,200	4,463,200	1,700,000	6,768,170	6,768,170	2,304,970	152%	5,068,170	398%	
その他	自動販売機収入	6,086,610	4,034,562	6,000,000	6,498,841	4,168,804	412,231	107%	498,841	108%	
	雑収入	231,323	211,100	100,000	1,088,481	458,063	857,158	471%	988,481	1088%	
	不可抗力費用負担	27,196,992	871,345	0	12,430,703	2,023,603	-14,766,289	46%	12,430,703	-	
	計	52,675,655	22,561,737	20,100,000	42,240,865	27,175,710	-10,434,790	80%	22,140,865	210%	
合計(A)	334,416,612	232,855,594	297,700,000	327,877,418	258,173,933	-6,539,194	98%	30,177,418	110%		
(現状分析・課題)											
・利用料金収入、自主事業収入ともに、前年度比及び計画比ともに目標を達成している。収入増加の要因としては、施設利用の稼働率の増加による利用料金収入の増加、積極的な自主事業企画による販売品収入の増加、自動販売機収入の増加である。不可抗力費用負担を除くと、収入は増加傾向にあり、引き続き利用促進に向けた取組に努める。											

(2) 支出

支出項目		R6実績		事業計画	R7実績		前年比		対計画比		特記事項	
		(運動場+公園)	(総合運動場部分)		(運動場+公園)	(総合運動場部分)	(金額)	(%)	(金額)	(%)		
人件費	給与	87,466,065	77,994,474	92,996,064	89,268,495	79,123,944	1,802,430	102%	-3,727,569	96%		
	福利厚生	386,360	332,878	400,000	130,805	130,805	-255,555	34%	-269,195	33%		
報償費	諸謝金(自主事業)	10,608,490	10,359,698	4,482,000	12,129,650	11,891,110	1,521,160	114%	7,647,650	271%		
旅費	旅費交通費	280,464	279,444	472,000	164,320	163,210	-116,144	59%	-307,680	35%		
需用費		100,480,774	63,539,213	77,098,000	82,857,353	63,076,448	-17,623,421	82%	5,759,353	107%		
	消耗品費	事務用品費 消耗品 薬品代 雑費	4,372,309	3,959,632	3,350,000	4,648,990	4,246,160	276,681	106%	1,298,990	139%	
	燃料費	燃料費	1,172,543	126,450	130,000	110,984	97,552	-1,061,559	9%	-19,016	85%	
	食料費	食料費	17,000	17,000	168,000	30,400	30,400	13,400	179%	-137,600	18%	
	印刷製本費	印刷製本費	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	
	光熱水費	光熱水費	59,312,149	52,101,098	63,450,000	57,274,941	51,494,426	-2,037,208	97%	-6,175,059	90%	
	修繕料	修繕料	35,606,773	7,335,033	10,000,000	20,792,038	7,207,910	-14,814,735	58%	10,792,038	208%	
	役務費		13,663,857	12,139,933	16,552,000	16,044,256	13,229,963	2,380,399	117%	-507,744	97%	
	通信運搬費	切手・郵便代・電話	1,230,547	1,165,432	1,354,000	1,129,694	1,070,195	-100,853	92%	-224,306	83%	
	広告料	広告・宣伝費	229,900	205,150	250,000	349,800	325,050	119,900	152%	99,800	140%	
	手数料	振込手数料 会計労務管理本 社一般管理費	11,200,356	9,929,701	13,448,000	13,554,348	10,994,078	2,353,992	121%	106,348	101%	
	保険料	ファミリーーズ保険 車輛等保険自 主事業レク保険	1,003,054	839,650	1,500,000	1,010,414	840,640	7,360	101%	-489,586	67%	
委託料		108,184,028	73,811,300	111,014,400	113,432,211	76,486,515	5,248,183	105%	2,417,811	102%		
使用料及び賃借料	事務機器リース料等	3,768,793	3,200,245	3,975,000	3,649,928	3,069,400	-118,865	97%	-325,072	92%		
負担金	各種年会費等	70,697	10,000	50,000	18,602	17,000	-52,095	26%	-31,398	37%		
公課費	消費税・印紙代 等	9,253,460	8,251,516	8,181,691	9,372,783	8,589,159	119,323	101%	1,191,092	115%		
諸経費	折願料	65,000	62,750	30,000	57,000	54,750	-8,000	88%	27,000	190%		
合計(B)		334,227,988	249,981,451	315,251,155	327,125,403	255,832,304	-7,102,585	98%	11,874,248	104%		
(現状分析・課題)												
・支出が増加となった項目の要因としては、積極的な自主事業企画による講師への謝礼金の増加、一般管理費の上昇による手数料の増加、再委託業務に係る委託料の増加である。前年度懸念していた光熱水費の支出については当初の予測ほど影響は少なく減少となったが、再委託業務に係る委託料(特に人件費)で物価高騰の影響を受けた。												
・引き続き物価高騰による委託料の負担増が見込まれるため、県と指定管理者間で連携し影響額等も確認しながら、補正予算の要求も含め検討を行う必要がある。												

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	R6実績	事業計画	R7実績	前年比		計画比	
				(金額)	(%)	(金額)	(%)
事業収支(C) (収入(A)－支出(B))(単位:円)	¥188,624	(¥17,551,155)	¥752,015	¥563,391	399%	¥18,303,170	－4%
収益率 (事業収支(C)／収入合計(A))	0.06%	－5.9%	0.23%	0.2%	407%	6.1%	－4%
利用料金比率 (利用料金収入／収入(A))	14.3%	13.1%	15.3%	1.0%	107%	2.2%	117%
人件費比率 (人件費／支出(B))	29.5%	29.5%	31.0%	1.6%	105%	1.5%	105%
外部委託費比率 (外部委託費合計／支出(B))	32.4%	35.2%	34.7%	2.3%	107%	－0.5%	98%
利用者あたり管理コスト (支出(B)／利用者数)(単位:円)	¥337	¥478	¥294	(¥43)	87%	(¥183)	62%
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料／利用者数)(単位:円)	¥236	¥357	¥220	(¥16)	93%	(¥137)	62%
(現状分析・課題)							
・利用料金収入及び自主事業収入の増加により収入が増加となり、支出を極力抑えたため事業収支は増加となった。収益率も増加となっており、安定した財務状況を維持している。 ・物価高騰の影響が今後も続くと思えるため、引き続き施設利用稼働率の維持・向上及び積極的な自主事業企画による収入の確保に取り組む必要がある。							

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準 (③財務状況)】
収益率 (事業収支／収入合計)
A : 0%以上
B : -5%以上、0%未満
C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	・参加者からも好評であることから自主事業を積極的に拡充し、引き続き継続して実施できるよう計画する。 ・令和8年度も引き続き物価高騰による負担増が見込まれるため、経費削減に努めるとともに、県と指定管理者間で連携しながら、補正予算の要求も含め検討を行う。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R8年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入－支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支／収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入／収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計／支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出／利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストが分かり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料／利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目		評価指標	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数	680,000	684,300	688,600	692,900	4,300人/年 (体育施設のみ)
	②満足度	満足度	85%	85%	85%	85%	
財務指標	③財務状況	収益率	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	

2. 評価結果

評価項目		評価指標	R6年度実績	事業計画 (目標値)	R7年度実績	前年比	計画比	現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	R8年度 目標値
成果指標	①利用状況	利用者数	991,426	660,000	1,071,112	108%	162.3%	・個人利用者数及び専用利用者数ともに前年比で増加となっており、事業計画目標値を上回っている。 ・引き続き自主事業の拡充を図り、県と指定管理者間で連携しながら各施設利用者のニーズに対応できるよう努める。	S (20)	・施設利用者数については、積極的な広報活動も継続しつつ、必要な備品や設備修繕についても、県と指定管理者間で定期的に情報を共有し、引き続き目標値の達成に向けた工夫に努める。 ・自主事業については、R7年度も積極的にイベント等も企画しており、参加者からも好評であることから、R8年度も引き続き利用者の意見も踏まえながら継続した開催ができるように努める。	680,000
	②満足度	満足度	97.8%	85%	97.3%	99.5%	114.5%	・基本協定書に基づき、指定管理業務は全般的に適切な対応ができています。 ・総合評価も97.3%と、利用者からも高い評価を得ている。 ・今後も利用者のニーズ、意見を適切に把握できるよう、アンケート調査の内容や方法についても見直しを行い、サービスの維持向上に努める。	S (20)	・各項目ともに高評価となっているため、今後もサービスの質が維持できるよう、利用者のニーズ、意見を適切に把握するためのアンケート調査の内容や方法についても見直しを検討する。	85%
財務指標	③財務状況	収益率	0.06%	0.2%	0.23%	383.3%	115.0%	・利用料金収入及び自主事業収入の増加により収入が増加となり、支出を極力抑えたため事業収支は増加となった。収益率も増加となっており、安定した財務状況を維持している。 ・物価高騰の影響が今後も続く予想されるため、引き続き施設利用稼働率の維持・向上及び積極的な自主事業企画による収入の確保に取り組む必要がある。	A (5)	・参加者からも好評であることから自主事業を積極的に拡充し、引き続き継続して実施できるよう計画する。 ・令和8年度も引き続き物価高騰による負担増が見込まれるため、経費削減に努めるとともに、県と指定管理者間で連携しながら、補正予算の要求も含め検討を行う。	0.2%

活動指標	④重点取組事項	利用促進 自主事業 サービス改善 効率化 経費節減 適正化 安全安心等	97.8%	85%	97.3%	99.5%	114.5%	・前年度同様、高い満足度を得ている。	A (5)	・各項目ともに高評価となっているため、今後もサービスの質が維持できるよう、利用者のニーズ、意見を適切に把握するためのアンケート調査の内容や方法についても見直しを検討する。	85%
総合評価		・全ての項目において目標値を達成しており、質の高い管理運営を遂行している。 ・今後も引き続き経費削減を行うとともに、自主事業等の実施によって財務状況の安定化を図り、施設利用者の増加及び満足度の維持に努める。							S (50)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。
※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。
※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6－Ⅰ～Ⅲから転記する。
※「R8年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）
A：0%以上
B：-5%以上、0%未満
C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価
S：目標を大きく上回る
A：目標を概ね達成
B：目標を下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

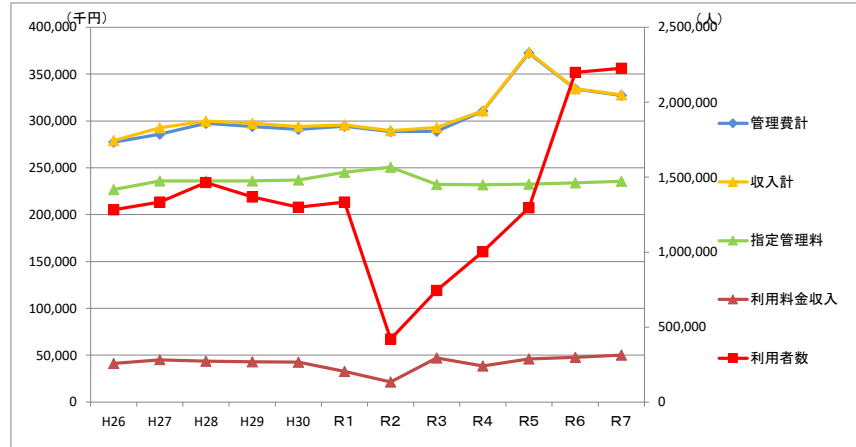
＜各評価項目点数＞

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：奥武山総合運動場

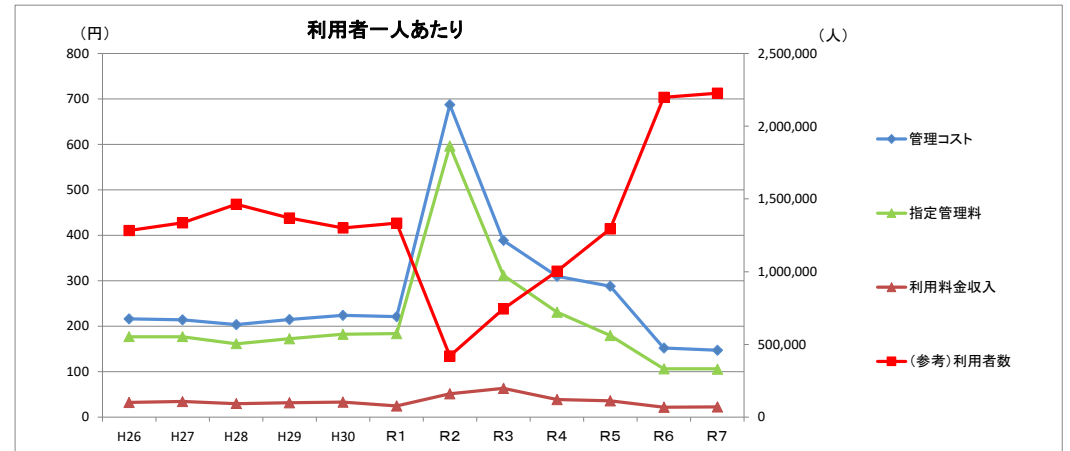
指標			単位	直営	指定管理																			
				H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
成果指標	利用者数	目標(体育施設の み)	人							—	545,000	570,000	595,000	620,000	645,000	670,000	695,000	720,000	745,000	770,000	600,000	620,000	640,000	660,000
		実績	人						1,150,572	812,234	1,750,703	1,665,678	1,282,658	1,334,674	1,463,266	1,368,696	1,299,514	1,333,294	420,005	743,797	1,003,544	1,294,455	2,198,872	2,227,037
		実績(体育施設のみ)	人						599,509	472,279	532,735	541,865	568,429	674,659	748,611	636,209	646,640	395,638	181,899	267,379	495,684	452,598	991,426	1,071,112
		目標比(体育施設のみ) H23比	%		—	—	—	—	—	—	98%	95%	96%	109%	116%	95%	93%	55%	24%	35%	83%	73%	155%	162%
財務指標	指定管理料(全体)		千円				211,869		222,000	222,000	220,500	220,500	226,799	236,000	236,000	236,000	237,000	245,189	250,514	232,200	231,700	232,600	234,000	235,600
	指定管理料(スポーツ振興課のみ)		千円		191,749	191,612	175,881	175,000	187,000	187,000	187,000	187,000	192,342	187,000	187,000	187,000	187,000	189,741	192,500	182,200	181,600	182,400	183,700	185,200
	県負担割合(指定管理料／管理費計)全体		%						84.3%	81.8%	81.2%	82.0%	81.8%	82.6%	79.4%	80.3%	81.5%	83.3%	86.8%	80.4%	74.6%	62.5%	70.0%	72.0%
	県負担割合(指定管理料／管理費計)体育施設のみ		%						—	—	—	80.9%	81.0%	80.2%	79.0%	79.8%	79.6%	81.7%	89.4%	80.4%	78.5%	75.5%	73.5%	72.4%
	利用料金収入(全体)		千円				31,458	37,749	38,236	40,835	41,270	45,179	43,611	42,889	42,586	32,711	21,536	47,096	38,476	45,857	47,741	50,037		
	利用料金収入(体育施設のみ)		千円				28,424	33,855	33,690	35,778	36,165	42,100	40,856	40,594	40,381	30,053	20,245	35,520	36,172	42,743	44,052	45,798		
	利用料金比率(利用料金／収入計)全体		%				11.9%	13.8%	14.0%	15.0%	14.8%	15.4%	14.6%	14.4%	14.5%	11.1%	7.4%	16.1%	12.4%	12.3%	14.3%	15.3%		
	利用料金比率(利用料金／収入計)体育施設のみ		%				—	—	—	15.3%	15.1%	17.5%	17.1%	17.1%	17.0%	12.9%	9.4%	15.3%	15.6%	17.6%	18.9%	17.7%		
	収入計(全体)		千円				264,536	274,058	272,996	271,618	279,051	292,603	299,719	297,496	294,077	295,661	289,573	292,946	310,607	373,417	334,417	327,877		
	収入計(体育施設のみ)		千円				—	—	—	233,945	239,193	239,954	238,982	237,731	238,048	233,731	216,172	231,699	231,226	242,550	232,856	258,174		
	管理費計(全体)		千円				263,225	271,299	271,707	268,818	277,178	285,809	297,335	293,983	290,898	294,268	288,700	288,816	310,471	372,390	334,228	327,125		
	管理費計(体育施設のみ)		千円				—	—	—	231,250	237,355	233,161	236,599	234,219	234,870	232,338	215,382	226,612	231,255	241,722	249,981	255,832		
	収支(全体)		千円				1,311	2,759	1,289	2,800	1,873	6,794	2,384	3,513	3,179	1,393	873	4,130	136	1,027	189	752		
	収支(体育施設のみ)		千円				—	—	—	2,695	1,838	6,793	2,383	3,512	3,178	1,393	790	5,087	-29	828	-17,125	2,342		
	収益率(収支／収入計)全体		%				0.5%	1.0%	0.5%	1.0%	0.7%	2.3%	0.8%	1.2%	1.1%	0.5%	0.3%	1.4%	0.0%	0.3%	0.1%	0.2%		
	収益率(収支／収入計)体育施設のみ		%				—	—	—	1.2%	0.8%	2.8%	1.0%	1.5%	1.3%	0.6%	0.4%	2.2%	0.0%	0.3%	-7.4%	0.9%		
/単位	一人あたり管理コスト		円				229	334	155	161	216	214	203	215	224	221	687	388	309	288	152	147		
	一人あたり指定管理料		円				193	273	126	132	177	177	161	172	182	184	596	312	231	180	106	106		
	一人あたり利用料金収入		円				27	46	22	25	32	34	30	31	33	25	51	63	38	35	22	22		

※平成25年度から収益等について体育施設と公園施設を分別



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R7年度	利用者数の増加により利用料金収入は増加傾向にあり、また積極的な自主事業企画及び適切な管理運営により管理コストは減少傾向にある。
R6年度	利用者数の増加により収入は増加(不可抗力費用負担を除く)、さらに管理費の適正化を図ったことで一人あたりの管理コストは改善した。
R5年度	体育施設の利用者数は減少したものの、全体としては増加となった。収入の大幅増については不可抗力費用負担によるものである。
R4年度	利用者数は回復傾向にあり、自主事業の取組により収入増となった分については、積極的に施設の修繕にあてられている。



目標設定の考え方

※目標設定の根拠や考え方などを記載

R7年度	沖縄県の施策「スポーツアイランド沖縄」の形成の成果指標として設定されている目標値
R6年度	沖縄県の施策「スポーツアイランド沖縄」の形成の成果指標として設定されている目標値
R5年度	沖縄県の施策「スポーツアイランド沖縄」の形成の成果指標として設定されている目標値
R4年度	沖縄県の施策「スポーツアイランド沖縄」の形成の成果指標として設定されている目標値